

業 務 名

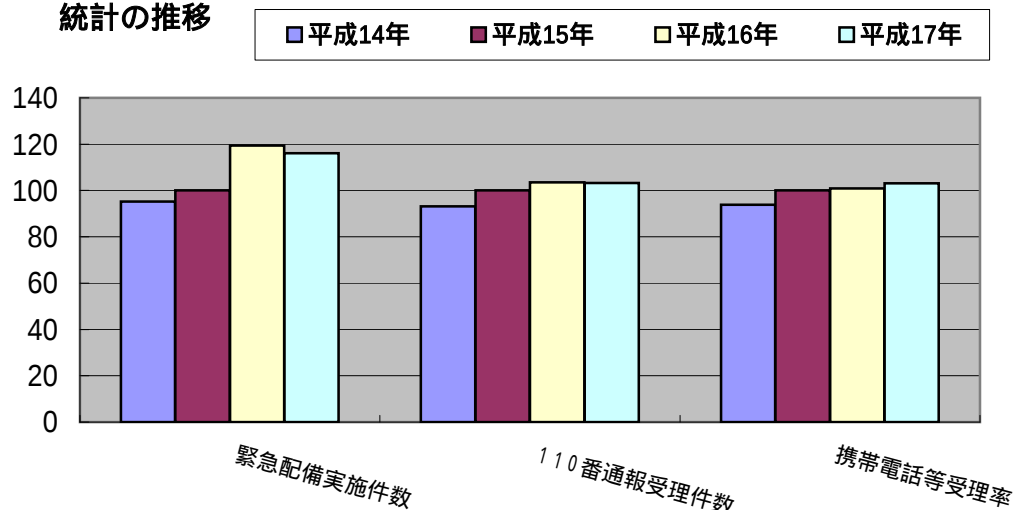
初動警察活動の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
緊急配備実施件数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	59	62	74	72	件
110番通報受理件数	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	91,545	98,223	101,679	101,374	件
携帯電話等受理率	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位
	59.5	63.4	64.0	65.4	%
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	単位

「緊急配備」とは、重要な犯罪等の発生に際し、犯人の早期検挙のため多数の警察官を集中動員し、検問等を行う初動活動をいう。

統計の推移



< グラフは、15年を100とする指数で表した。 >

○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成17年度事業費(千円)	平成18年度事業費(千円)
1	地域警察費	2,829	2,771
2	総合指令警察運営費	1,167	1,787
3	通信指令機器維持管理費	218,813	180,957
4	警察運営諸費	135,181	4,800
5	県民のための警察活動迅速化推進費	2,772	2,614
6	警察無線高度化更新事業費	6,708	5,863
7	ヘリコプター維持管理費	2,795	5,513
8	ヘリコプター運用・維持費	68,281	119,057
合 計		438,546	323,362

○平成17年の取組み

- 広域化、スピード化する犯罪情勢と増加する110番通報に迅速・的確に対応した初動警察活動を推進し、県民の安全と安心を確保するため、「110番通信指令マニュアルを作成するなど通信指令機能の向上を図った。
- 凶悪事件等の発生に際し、迅速な初動警察活動を実施して犯人の早期検挙に努めるため、通信指令システムを効果的に運用した緊急配備の発令を推進した。
- 県民に対し広く110番通報への理解と正しい利用方法についての周知を図るため、1月10日の「110番の日」をはじめ、あらゆる機会を捉えて積極的な広報啓発活動を実施した。

○課題と平成18年の取組み

- いたずらや無言電話等を解消し、緊急電話として110番本来の機能を確保するため、県及び市町の広報誌等を活用し、広く県民に110番制度の周知と正しい利用促進を図るとともに、「110番の日」を重点とした広報啓発活動を一層推進する。（平成17年中の110番通報総受理件数に占めるいたずらや無言電話等の割合は、約30%である。）
- 110番通報の受理に当たっては、常に通報者の立場に立った親切、丁寧な対応に努める。
- 犯人の早期検挙を図るため、通信指令システムのより効率的な運用を図り、迅速・的確な緊急配備を実施する。
- 初動警察活動をはじめ各種警察活動のより効率的な推進を図るため、空からの、緊急配備活動、各種捜査活動、山岳・海上における捜索や救急活動など、ヘリコプターの機動性、広視界性を活かした活動を一層推進する。